



**鐵輪** 宮崎精鋼株式会社 名古屋市中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191 平成27年2月号

## 社長 年頭挨拶

1月5日（月）8時より、本社食堂にて社長が年頭の挨拶をされました。要旨は以下の通りです。

皆様あけましておめでとうございます。昨年を振り返ってみると、相変わらず自然災害が非常に多い年だったと思います。

経済的に見ますと、4月の消費増税に伴い景気が腰砕けになる事は想定内でした。ただ、円安が進み、株価は倍になりました。そういう意味では、全体的にはそう悪くなかったのかもしれませんが、しかし、エネルギーコストの上昇や円安による輸入原材料の値上げが重くのしかかり、中小企業にとっては厳しい年になりました。年末の12月にはこれまでのアベノミクスを問う衆議院の解散総選挙が行われ、自民党が大勝し、アベノミクスの第二幕がスタートという事になったと思います。

これからの課題として、特にTPPなど、グローバル規模での自由貿易協定がどのように進展していくかは、間接的とはいえ我々には大きなポイントになります。グローバル化が進むと、世界で一番商品力のある企業、競争力のある企業の価格がベンチマークとなって、それに向かって競争し、価格がフラット化するようになります。それに勝てなければ、淘汰され、吸収されることとなります。グローバル規模での競争激化は間違いないと思います。

そこで当社は3つのポイントに取り組んでいきます。

### ①過去10年の投資効果の最大化

先に設備投資を行った磨棒鋼管の事業では、効果がきめんに出ており、皆さんの努力の成果もあって、安定した収益構造になってきている。最後に設備投資を行った知多工場の投資効果を、これから最大化したい。これが実現できれば、少なくとも国内では同業他社に負けない最強の会社を目指すことができる。



社長年頭挨拶の様子

### ②国内需要減への対応

国内の需要減に対応するため、付加価値向上・新商品開発に取り組む。これまで、磨棒鋼から冷間圧造用鋼線、引抜鋼管、ファインスラグを生み出してきたように、そろそろ新しい製品、さらなる付加価値を付けた製品の開発に取り組んでいきたい。

### ③グローバル展開

海外においては、初めてとなる当社主体のメキシコプロジェクトを成功させる必要がある。これは当社の海外戦略、そして今後の海外投資の在り方の大きな試金石であり、試行錯誤しながらも必ず成功させなければならない。

最後に、今年も挑戦の年になることから、社員が一丸となり、さらなる成長に向け、工場の安全・健康管理に注意し、明るい一年にしましょう。

